

身につけた思考力を生かし
国民を守る法曹実務家に

Faculty of Law

法学部



http://www.law.osaka-cu.ac.jp/
06-6605-2303

複雑に変化する現代社会を捉え、 自らの考えを持って立ち向かう。

学びの特長

社会科学の素養と リーガル・マインドを身に付ける

現代社会の動きを分析し、将来の動向を的確に予測するために必要な「社会科学の素養」と、多様な人々が共生する社会で、現実に応じた解決方法を導くための「リーガル・マインド」の両方を身に付けます。

研究熱心な教員集団による 充実した少人数教育

法学部は、優れた研究者が良い教育者であることの必要条件と考え、教員の採用に努めてきました。研究水準の高い教員陣による密度の高い少人数教育を通じ、法学・政治学各分野の内容とともに、学問に対する姿勢も学ぶことができます。

将来設計(キャリアデザイン)を 見据えた3つの履修コース

法曹などを狙う人のための法律基本科目を深める「司法コース」、公務員などを狙う人のための、法律科目に加え行政関係科目も学ぶ「行政コース」、政治学や国際関係法などを幅広く学ぶ「企業・国際コース」の3コースから、将来を見据えた選択が可能です。

司法コース

行政コース

企業・国際コース

Student Voice 在学生の声

法制度やルールを考え、
健全な社会をつくりたい。

ゼミでは刑事法を学び、犯罪者を生まない環境づくりについて研究しています。法が定められた背景や社会的な機能など、社会で役立つ実用性の高い知識が身に付いていると感じます。将来は法曹実務家として、健全な社会づくりに貢献することが目標です。

法学科 4年生 中山 一仁
履正社高等学校卒業



Challenge of OCU 大阪市大の挑戦

自治体の現場から内閣まで
細部に分け入って行政を考える

法学研究科 手塚 洋輔先生

行政は私たちの暮らしや仕事と密接に関係しています。こうした国や自治体の活動は法令という設計図に従って行われますが、だからといって機械のように全てが自動的に実行されるわけではありません。職場内部の関係から始まって、民間を含めた他の組織との関係、政治家との関係、ひいては私たち一人ひとりの関係の中で形作られているのです。その複雑な実態を解明するべく、過去の文書を調べ、当事者に聞き取りを重ねています。



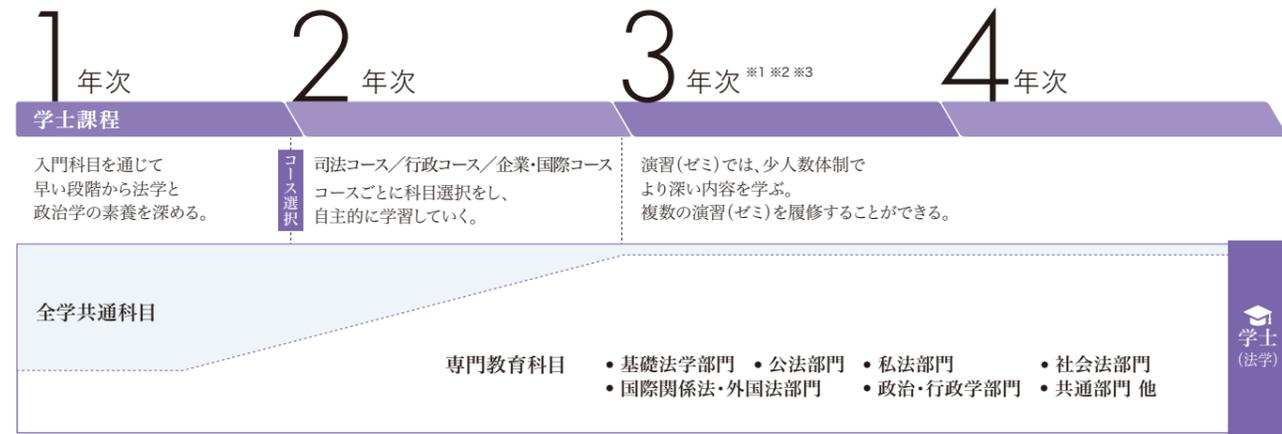
Professor's MESSAGE

行政を知ることは
世の中のしくみを知ることにつながります。

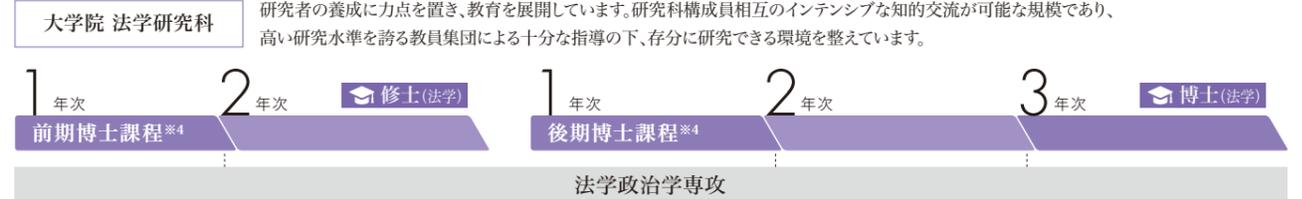


法学部ではどのような勉強ができるのですか？

もっぱら法律の条文を暗記することが法学部の勉強ではありません。もちろん法律の細かい知識を知ることが大切ですが、同時にそうした知識が社会の中で持つ意味を考えなければなりません。そのために、法学と同時に広く政治学も学ぶのです。柔軟にルールを使いこなし、批判し、改良できる人材を育成するための、充実した諸講義を提供します。



※1:成績優秀者は、3年次に大学院を受験することができます。 ※2:成績優秀者は、3年で卒業することもできます。
※3:成績優秀者は、法科大学院(ロースクール)との協定に基づいて3年で卒業し、法科大学院(ロースクール)に進学することができます。



法科大学院(ロースクール) 大阪市内に設置された唯一のロースクールとして、大都市ゆえに生ずるさまざまな法的問題に即応できる高度な法的能力を備えた裁判官・検察官・弁護士などの法律実務家の養成に力を注いでいます。修了後に後期博士課程を受験することができます。



※4:年限短縮制度=成績優秀者は、前期博士課程の在学期間(標準2年)を短縮することができます。また、後期博士課程の成績優秀者は、在学期間(標準3年)を短縮して修了することができます。
※5:入学者は、所定の単位を3年間で修めなければなりません。法科大学院に提供される科目の一定範囲につき、すでに十分学力を有すると判定された者は、2年間で修了することも可能です。

I Study Program I

法学部

社会科学的な素養と法的思考(リーガル・マインド)を備えた、人権感覚豊かな現代社会の担い手となりうる人材の育成を教育理念としています。本学科の特長は、法学・政治学の各分野における研究の第一線を担う、中堅・若手の研究者を中心とした教員集団を擁していること。研究者としての水準が高い充実した教員集団の下で、少人数体制ならではの密度の高い教育を受けることができます。



専門教育科目

基礎法学部門	<ul style="list-style-type: none"> 法哲学 法社会学 日本法制史 日本近代法制史 	<ul style="list-style-type: none"> 東洋法制史 西洋法制史 ローマ法 	公法部門	<ul style="list-style-type: none"> 憲法第1~2部(基本的人権、統治機構) 行政法第1~2部(総論、各論、行政救済) 租税法 刑法第1~2部(総論、各論) 刑事訴訟法 刑事政策 	私法部門	<ul style="list-style-type: none"> 民法第1~5部(総則、物権法、債権総論、債権各論、家族法) 商法第1~3部(総則、商行為法、会社法、手形・小切手法) 金融商品取引法 民事執行・保全法 民事訴訟法 倒産法
社会法部門	<ul style="list-style-type: none"> 労働法(集団的労働法、個別的労働法) 社会保障法 経済法 知的財産法 	国際関係法・外国法部門	<ul style="list-style-type: none"> 国際法(国際法の基本原則、紛争処理法) 国際組織法 国際経済法 国際私法 英米法 	政治・行政学部門	<ul style="list-style-type: none"> 政治学 比較政治学 政治過程論 政治学史 日本政治外交史 	<ul style="list-style-type: none"> 欧州政治外交史 国際政治 行政学 公共政策論
共通部門 他	<ul style="list-style-type: none"> 法学入門 法曹実務入門 政治学概論 法学政治学計量分析 	<ul style="list-style-type: none"> 発展科目 基礎演習 法政2年次演習 専門演習 	<ul style="list-style-type: none"> 演習論文 外国語演習(英語、ドイツ語、フランス語、中国語) 特別研究 			

法学部のココもCHECK!

年次に応じた学習プログラム

法学部では、少人数教育の利点を生かして、思考を深め、論理的に語る力を身に付けられるよう、演習形式の科目を年次に応じて配置しています。1年次の基礎演習で基礎的な力を、また、法政2年次演習、外国語演習等で応用力を育み、専門演習では各人の問題意識に応じ、適切な資料に基づき、自分の意見を説得的に展開できるよう互いに切磋琢磨します。

学びの場作りへの自主的な関わり

専門演習に参加する学生の横のつながりを作っているのがゼミ幹事会です。ゼミ幹事会は、年度ごとに集まって、ゼミ紹介や外部講師を招いて行う講演会の企画を立てたり、講義、授業の在り方について意見交換を行ったり、また、ゼミ横断的な活動や教員と交流をするなどの活動を通して、学びの場の形成に自主的に関わっています。

卒業後の進路にはどのようなものがありますか?

裁判官・検察官・弁護士などの専門法曹を目指すなら、卒業後、法科大学院に進学します。そのほか、公務員、マスコミ関係、銀行・保険・証券、国際機関職員など、卒業生の活躍の場は広がっています。在学中は自分の就職の方向を決めつけず、教員や友人たちとの交流を通して、自己の才能を開拓、開花させる努力を継続することが大切です。

I 講義紹介 I



民事訴訟に関する近時の重要な判例・論文の精読を通じて、民事訴訟の重要問題に関する理論・実務の現況を把握するとともに、法的なテキストの読み方、口頭での法的議論の方法に習熟することを目標としています。教員も学生の皆さんと対等な参加者として議論に加わることを心がけています。



日本における刑事手続の制度が何を目的として作られ、いかなる機能を果たしているかを学び、手続がどうあるべきかを考えます。刑事訴訟法学を通じて、皆さんが修得した専門知識を活用して具体的な問題の妥当な解決を探る力を養います。自由と伝統ある大阪市立大学法学部で、法学・政治学を共に学びましょう。

学部ごとの注目情報をお届け

TOPICS

大阪市立大学無料法律相談所

60年以上の歴史を持ち、週1回、杉本キャンパスで所員(学生)による相談、春と秋には、市大出身の弁護士や教員も加わって出張相談を行います。相談者の話をよく聞き、問題のポイントをつかむ経験は、社会に出てからも役立っています。



I 卒業生紹介 I

法学部の知識を不動産取引に生かし、利便性の高い街づくりに貢献しています。

少子高齢化による生産年齢人口の減少が進む中、当社は鉄道の枠を飛び出し、多角的な経営を行っています。中でも私は、駅周辺用地の有効活用を考え、特に不動産分野で駅を中心とした街づくりに努めています。市大法学部で学んだ知識は、不動産取引を行う現在の仕事に通ずる部分も多く、駅周辺の利便性を向上させることで、地域の皆さまに喜んでいただくことに、大変やりがいを感じています。また、在学中はボート部に所属し、何物にも代え難い経験と仲間を手に入れました。最後の学生生活、自分次第で可能性は無限に広がります。



法学部 法学科
2017年3月卒業
大石 将司
西日本旅客鉄道株式会社

法学・政治学の生きた姿を学ぶ機会が講義以外にもありますか?

法学部の全教員・学生を会員とする「法学会」が、弁護士や公務員など多様なキャリアを持つ方々の講演会などを企画して、法学・政治学の生きた姿を学ぶ機会を提供しています。このほか、教員と学生が所員である「無料法律相談所」も、その活動を通して市民の期待に応えるだけでなく、「生きた法学」を学ぶ機会になっています。